

(2) 社会教育施設（社会教育センター等5施設）

指定管理者の名称 アズビル株式会社  
所管部課 生涯学習推進担当 生涯学習課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」(1)～(4)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

(1) 事業の運営

委員会の 評価	A	【参考】区の評価				
		センター	千束	小島	根岸	今戸
		A	A	A	A	A

委員のコメント

良い点
<p>どの施設も利用者が表情豊かに楽しく利用している雰囲気を感じることができた。指定管理者が利用者の気持ちに配慮した対応を行っている結果であろう。</p> <p>開館時間を利用しやすい時間に設定するなど、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>老朽化などの課題を抱えている施設が多い中、利用者の利便性や安全面に配慮しつつ、施設目的に沿った適切な事業運営を行っている。また、「ラーニングスクエア」や自主事業など、各事業の配分や内容を工夫して運営している。</p> <p>自主事業である「サークルフェスタ」を5施設合同で実施するだけでなく、各施設単独でも実施することは、地域におけるサークル活動の成果を発表する場の確保、そして活性化策として評価できる。</p>

## 良い点（前ページからの続き）

新しいジャンルを取り入れ、隣接する学校とのふれあいや地域資源を活用した講座を展開するなど、事業運営に取り組む積極的な姿勢が感じられた。

講座終了後に自主サークルが発足するなど、継続した生涯学習を推進している。

## 改善すべき点

全体的に中高年の利用が多く、今後もこの傾向が続くことを想定すると、マニュアルの作成だけではなく、その情報共有を行うなど、安全対策の向上を図ることが求められる。

積極的に事業を展開しているものの、利用者数等が減少している点について、各施設によって利用者ニーズ等を再検討する必要がある。また、同様の講座を複数の施設で実施してみるのも良いのではないかと。

利用者ニーズの把握の仕方については、数値化などを含め、今後、より良い運営に資する分析法となるよう工夫を求めたい。また、要望に対してどのような改善を行ったのか、まとめたものを内容にもよるが、公表することを検討してほしい。

利用団体の高齢化にどう対処するか、指定管理者としても方策を考えてもらいたい。

## その他

A E D等の救命講習の受講回数を増やすなど、緊急対応ができる職員の数と資質向上に努めてほしい。

施設独自の「社教館ニュース」を発行し、活動をPRしている。利用者の活動を応援することの意味と、これから活動してみたいと思う人々にとって素晴らしい情報提供となっている。

申込み手順や利用手順の簡略化など、利用者のサービス水準をさらに上げるような方策を区と連携しながら検討してほしい。また、施設が空いている場合は、町会や地域の高齢者などの集まりの場として簡単に申込み、利用ができると良い。

各施設の特徴を十二分に活用しており、また、講座やサークルの多種多様なジャンルに大変興味深く感じた。

## (2) 施設の維持管理

委員会の 評価	A	【参考】区の評価				
		センター	千束	小島	根岸	今戸
		A	A	A	A	A

### 委員のコメント

#### 良い点

施設の老朽化を補う工夫をしており、限られた予算の中、その状況を踏まえた努力や、利用者ニーズに対応した使いやすさを意識した取組みと改善が見られる。

それぞれの建物構造に違いのある中で、安全面を含め工夫して使用しており、備品等も充実している。

施設内は、トイレ等を含め清掃が行き届いており、保守管理や設備点検なども適切に実施している。

#### 改善すべき点

全般的に施設の看板や案内板が目立たなくわかりにくい。初めて訪れる利用者の目線から、再点検することが望まれる。

駐輪場の整備に努力していることは認められるが、自転車やベビーカーによる利用者が多い施設もあるため、安心して駐輪できる場所を確保してほしい。

施設によっては日が入らず暗いため、雰囲気のみならず、安全面を考えると、照明についての工夫がほしい。

- 施設が2階以上の場合は、利用者の昇降に配慮してほしい。特に千束社会教育館については、施設がある3階までのアプローチが屋外階段のみとなっており、高齢者にとっては不便である。また、雨天時には階段床が滑りやすいため、早急に改善を検討してほしい。
- 活動時に脱いだ履物がただ並べられただけの施設があったため、改善を検討してほしい。

その他
<p>○ 引き続き、施設面に関する区民の要望を丁寧に把握し、区民と区との橋渡しに尽力してもらいたい。</p> <p>施設自体の老朽化が進んでいる中、維持管理に一所懸命に努めており、古い施設を丁寧に使用していると感じた。</p> <p>○ 古い施設の建物構造上の課題もあるかと思うが、配管類がむき出しで見えている施設については、隠せるものは隠すなど若年層が利用したくなるような工夫がとれないか。</p> <p>○ 施設内の共有スペースは狭いながらも、利用者が心地よく過ごせるようにとの配慮が感じられた。</p>

### (3) 利用者の満足度

委員会の 評価	A	【参考】区の評価				
		センター	千束	小島	根岸	今戸
		A	A	A	A	A

### 委員のコメント

良い点
<p>利用者アンケートの結果から、「ラーニングスクエア」と自主事業ともに満足度は高く、利用者が大変満足している様子が見える。</p> <p>○ 「サークルフェスタ」の開催により、サークル活動団体相互の連携に努めるなど、利用者の満足度を高めている。</p> <p>○ 「所長・館長への手紙」など、利用者の要望を聞く仕組みが整っており、また職員が直接利用者に要望を尋ねるなど、利用者とのコミュニケーションにも努めている。</p> <p>○ 継続的なサークル活動に繋がるよう、活動用の荷物・備品の保管や傘の無料貸し出し等、きめ細かなサービスを実施していることは評価できる。</p>

## 改善すべき点

「所長・館長への手紙」は、字の大きさや用紙サイズを利用者（書く人）の立場から検討し、統一することが望まれる。また、回答の掲示場所がわかりにくいので配慮してもらいたい。

- 施設に関する要望が多いため、利用者ニーズの充足、満足度や利用率の向上のためにも、改善に向けて区と協議されることが望まれる。
- 全般的に利用率や利用人数は伸び悩み傾向にあるため、利用者等の意見を取り入れた講座の実施や、和室の使用を工夫し、区とも協議をしながら、利用状況の改善を期待したい。

## その他

現地でのヒアリングにより、利用者は施設の不十分さなどに対する要求は持っているものの、すぐに改善は難しいことをよく認知しており、指定管理者に感謝していることがよくわかった。

- 現地視察の所感として、おそらく継続して利用されている方々にとっては、なくてはならない存在になっているのではないかと感じた。
- 会場設営や後片付けは利用者が行うことが原則であるが、状況に応じて指定管理者が手伝う様子を知り、素晴らしいサービスだと感じた。すべての施設で続けてほしい。
- 掲示板の活用について、相互に連携しながら、他の施設の内容や空き状況を掲示するなど、掲示方法をさらに工夫すると良いのではないかと感じた。

(4) 収入支出

委員会の評価	A	【参考】区の評価				
		センター	千束	小島	根岸	今戸
		A	A	A	A	A

委員のコメント

良い点
<p>ほとんどの施設で利用料金収入が予算を上回っており、各施設の努力の結果として捉えることができる。また、照明の部分節電等の励行に努め、予算を適正に執行している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 施設によって、わずかに収入減が見られるが、施設の保守・管理、人件費など適切に運用しており、収入増の施設もあるなど、全体としては好ましい状況である。</li><li>○ 利用料金等は、帳簿記帳、銀行への納入、さらに内部におけるチェック、本社による監査の実施等、適正に管理されている。</li></ul>

改善すべき点
<p>利用料金収入と比較して、管理経費は増加傾向にある。原因を究明し、対策を講じることで、収支状況の改善に努力してもらいたい。</p>

その他
<p>予算作成においては、前年度の実績をベースに、新年度の計画、社会傾向、利用者ニーズをしっかりと反映させるとともに、諸経費の内容を精査し、作成することが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 経費削減への努力は継続してほしいが、利用者の満足度、利用しやすさを第一に考え、あまり儉約しすぎないようにしてほしい。また、利用者からのニーズによる備品調達には積極的に区へ働きかけてもらいたい。</li></ul>

## 2 総合評価

総合評価は、6ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の 評価	妥当	【参考】区の評価				
		センター	千束	小島	根岸	今戸
		妥当	妥当	妥当	妥当	妥当

### 委員のコメント

限られた予算の中、全体的に施設が老朽化しているにも関わらず、施設の管理運営については、適切かつ相応の努力をしていると認められる。今後とも、サービスの質を落とさぬ管理運営を望む。

- 施設の利用調整がスムーズに行われており、結果的に全サークルの活動を受け入れる努力が見られる。利用者との関係についても、良好な関係が築けていると見受けられる。
- 地域性を考慮した利用時間の変更や利用者ニーズに合わせた講座など、工夫した事業運営を行っている。サークルが相互に交流する場や成果を発表する場としての「サークルフェスタ」など、自主事業を積極的に実施していることは高く評価できる。
- 利用率等が伸び悩み傾向にあることから、事業内容の充実、実施方法や施設利用の工夫のほか、新規利用者及び年齢層の拡大に向けて、施設利用の周知に努めるとともに、若年層向けのサービスや空室を活用した新たな取組みが望まれる。
- 自主学習の場、学習機会の提供などの区民の生涯教育に資する施設としての役割を果たしている。今後は、高齢化の進行に伴い、家に閉じこもりがちな高齢者が外に出て様々な人と交流するきっかけを与える役割となることも期待したい。
- 時代のトレンド、特に2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、異文化理解の講座も検討してもらいたい。

### 3 評価委員会から区への意見

#### 委員のコメント

- 「社会教育センター」、「社会教育館」の名称は、堅いイメージをもたれがちである。区民から親しまれる名称への変更、あるいは愛称をつけることを検討してほしい。広く区民から「名称」または「愛称」を募集するという方法をとることにより、存在の認識と注意を喚起するという効果も期待できる。
- 施設及び設備の保守・維持管理へのサポートと同時に、利用者の安全管理にかかるハード面でのサポートが望まれる。また、適切な予算確保に努め、指定管理者と十分に協議を重ねて、安全で気持ちよく、清潔に利用できるよう施設の改善を行ってほしい。また、設備が全体的に古いため、若年層や新規利用者に利用してもらいやすくなるような、壁面、室内環境のリニューアルなども検討してほしい。

教育行政に関して、学校教育と社会教育のより密接な連携・協働体制を構築し、社会教育を視野に入れた総合的な教育行政を推進してほしい。社会教育団体の高齢化の課題解決にも、子供及び若年層の社会教育への理解と参加が不可欠であると考えます。
- 小学校、幼稚園、図書館などが併設されている施設については、現状も各施設で連携を図っているが、校長やPTAとの連携は人が変わってしまうと継続が難しい面があるため、区が仲介役となり、区民の地域施設の積極的な利用を図ってほしい。各施設の横断的な取組みとして、放課後子ども事業や子育て支援事業と連携することで、空室の解消や団体利用の拡大が見込めると考える。
- 講座等の受講から、サークルの結成や活動への参加に繋がるよう、生涯学習の活動の場の提供を支援してほしい。



## 区による評価

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート		部	生涯学習推進担当	課	生涯学習課																		
施設名称	〔44〕 東京都台東区立社会教育センター																						
指定管理者の名称	アズビル株式会社		指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31																			
1. 指定管理者の概要																							
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等																						
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティーセンター等（計29件46施設）																						
(3)経営状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>売上総利益</th> <th>販売費・一般管理費</th> <th>営業利益</th> <th colspan="2">(単位：百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25年</td> <td>61,887</td> <td>49,624</td> <td>12,263</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>65,096</td> <td>51,076</td> <td>14,020</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	(単位：百万円)		25年	61,887	49,624	12,263			26年	65,096	51,076	14,020		
	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	(単位：百万円)																			
25年	61,887	49,624	12,263																				
26年	65,096	51,076	14,020																				
2. 施設の概要																							
(1)所在地	台東区東上野6-16-8（上野小学校と併設）																						
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。																						
(3)利用者	主に社会教育関係団体。																						
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 第2・4月曜：9:00～22:00 第1・3・5月曜：13:00～22:00 休館日：年末年始（12/28～1/4）設備点検日																						
(5)規模	ホール130人 会議室40人 調理室32人 和室20人 温水プール 25m×15m（7コース）																						
(6)人員体制	週40時間勤務 12名（清島温水プールも含む）																						
3. 事業（サービス提供）の概要																							
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施																						
(2)自主事業	11講座実施 延べ37回 延参加人数 388人 サークルフェスタ参加人員 延参加人員 2,214人																						
4. 予算決算の推移																							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度																	
予算	委託料	76,019,000	77,001,000	68,024,000	67,488,000	70,099,000																	
	利用料金収入	2,560,000	2,600,000	2,180,000	2,260,000	2,370,000																	
	その他収入	0	0	0	0	0																	
	管理経費	78,579,000	79,601,000	70,204,000	69,748,000	72,496,000																	
決算	委託料	76,019,000	77,001,000	68,024,000	67,488,000	70,099,000																	
	利用料金収入	2,147,080	2,150,130	2,341,890	2,397,770	2,195,370																	
	その他収入	0	0	0	0	0																	
	管理経費	78,166,080	79,151,130	70,365,890	69,885,770	72,294,370																	
	収支	0	0	0	0	0																	
5. 施設の稼働状況等（活動指標）																							
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度																		
年間開館日数	日	355	354	355	355																		
自主事業等講座	講座	20	18	16	15																		
6. 成果指標																							
指標名称	単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度																		
利用率	%	50.0	53.4	54.5	48.5																		
利用人数	人	30,500	32,229	32,253	30,010																		

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>みなで手作りする「イベント」である、サークルフェスタが、サークルにも区民の方々にも浸透・定着し、認知度が高まり、来館者数2,214名とこれまでで、最多となった。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた講座として、『タイ入門「微笑みの国」の文化と言葉にふれる!』を実施したところ応募多数で、魅力あるテーマとなった。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。  2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。  1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	自主事業としてのサークルフェスタは、自主的な活動ができるようになり、また、区民の方々にも浸透・定着し、来館者数は、これまでの最多であった。参加者の裾野を広げるために、応募が多いと見込まれる講座の定員設定を考慮している。		
(2)施設の維持管理	A	C 2排出量抑制と環境バランスを整合した省エネルギープログラムを導入。また、貸室の使用の無い時間帯は、空調機をタイマー停止に設定し、節電に努めている。		
(3)利用者の満足度	A	利用者数が減少しているが、これは社会登録団体構成員の高齢化により、活動回数が少なくなったためである。活動用の荷物の保管や、調理室での活動後の活動ゴミの処理、傘の無料貸し出しなどが好評を得るなど細かい配慮を行い利用者の満足を得ている。		
(4)収入支出	A	前年度より収入減となったが、これは、利用件数が減ったためである。運営に関しては節電も積極的に行うなど、効率的な運営を行い、適切な予算管理・予算執行を行っている。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p> <p style="text-align: center;"><b>妥当</b></p> <p>サークルフェスタの自主運営が進み、参加サークルが活性化し、順調な事業運営となっている。また、利用者との関係も順調である。更に、独自の省エネシステムを導入し、節電に努めるなど、適切な施設運営を行っている。</p>				
<p>11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>サークルフェスタでは参加サークルの自主性を強め、利用サークルを活性化することや新しい団体を立ち上げるなどにより、利用件数や利用人数の増加に努める。また、引き続き2020年東京大会に向けて、関連した講座の充実を図る。</p>				

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称 [45] 東京都台東区立千束社会教育館

指定管理者の名称 アズビル株式会社 指定期間 H24.4.1 ~ H29.3.31

1. 指定管理者の概要

(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等		
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティセンター等（計29件46施設）		
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益（単位：百万円）
	25年 61,887	49,624	12,263
	26年 65,096	51,076	14,020

2. 施設の概要

(1)所在地	台東区浅草4-24-13（千束小学校3F）
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。
(3)利用者	主に社会教育関係団体。
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日
(5)規模	ホール：50名（107㎡） 和室：25名（49㎡） 会議室：15名（70㎡）
(6)人員体制	週40時間勤務 5名

3. 事業（サービス提供）の概要

(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施
(2)自主事業	4講座実施 延7回 延参加人員 93人

4. 予算決算の推移

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	14,117,000	13,879,000	15,706,000	15,551,000	16,109,000
	利用料金収入	1,340,000	1,400,000	1,340,000	1,400,000	1,470,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,457,000	15,279,000	17,046,000	16,951,000	17,579,000
決算	委託料	14,117,000	13,879,000	15,706,000	15,551,000	16,109,000
	利用料金収入	1,659,650	1,446,695	1,331,590	1,417,560	1,522,790
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,776,650	15,325,695	17,037,590	16,968,560	17,631,790
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
年間開館日数	日	343	339	340	342
自主事業等講座数	講座	18	17	14	14

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値（28年度）	24年度	25年度	26年度
利用率	%	51.0	48.0	50.0	49.6
利用人数	人	20,500	19,976	20,478	20,060

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み				
施設が小学校の3階にあるため、昇降困難な方に対する対応を引き続き強化し、利用者の利便性向上に努めている。住民のニーズに対応するため、自主事業では、『ぶらり下町散歩～古地図で奥浅草を巡る～』を実施。はじめて参加率は、60%以上となった。東京オリンピック・パラリンピック競技大会についての理解や親しみを深める講座については、27年度第3期に実施する。				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	退職された男性や、余暇をより有意義に過ごそうとされる男性をターゲットに、『飲みくらべて学ぶスペシャルコーヒー』の講座を実施し、男性の参加が35%以上となるなどテーマを工夫し参加者の増加に努めている。		
(2)施設の維持管理	A	年度計画・月次工程を立て、点検等を実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽箇所を洗い出しし、速やかに是正処理を行っている。		
(3)利用者の満足度	A	サークル会員募集用ポスターを階段下にも掲示して、サークル活動の手助けをしている。また、活動用の荷物の保管や、傘の無料貸し出しを行うなど細かい点に配慮したサービスを提供している。		
(4)収入支出	A	利用収入は、前年度と比較して若干増加しており、また、照明の部分消灯や裏紙印刷を励行して節約に努める等、適切な予算管理・予算執行を行っている。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		<b>妥当</b>	住民のニーズに応えるため、講座内容の充実や実施方法の工夫をし、順調な事業運営となっている。また、昇降困難な方への配慮等、利用しやすい環境整備に取り組んでおり、適切な施設運営を行っている。	
11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応				
住民のニーズに応えながら、地域の特性を生かした事業を展開していく。今年度初めて行った館独自のサークルフェスタを機会に、サークル同士の連携を深めていく。また、引き続き2020年東京大会に向け、多様な言語や文化、オリンピック・パラリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。				

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔46〕 東京都台東区立小島社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社		指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティセンター等（計29件46施設）					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	（単位：百万円）		
	25年 61,887	49,624	12,263			
	26年 65,096	51,076	14,020			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区小島1-5-2 （都営小島ビル2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日					
(5)規模	ホール：100名（129㎡）第一和室：15名（57㎡）第二和室：30名（70㎡） 第一会議室：30名（51㎡）第二会議室：20名（25㎡）第三会議室：20名（25㎡）					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	4講座実施 延18回 延参加人員 163人					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	14,146,000	14,098,000	16,783,000	16,624,000	17,175,000
	利用料金収入	2,210,000	2,450,000	1,600,000	1,670,000	1,780,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,356,000	16,548,000	18,383,000	18,294,000	18,955,000
決算	委託料	14,146,000	14,098,000	16,783,000	16,624,000	17,175,000
	利用料金収入	1,749,380	1,664,050	1,762,605	1,801,150	1,824,550
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,895,380	15,762,050	18,545,605	18,425,150	18,999,550
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
年間開催日数	日	343	339	340	342	
自主事業等講座数	講座	18	17	14	14	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （28年度）	24年度	25年度	26年度	
利用率	%	34.5	33.0	34.8	32.9	
利用人数	人	24,700	23,649	24,915	24,042	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>子育て世代を対象に託児付き講座として、『親子で楽しむ落語講座』を実施した。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「中国語で観光ガイド」として、海外からの旅行者へのおもてなしとして台東区を案内するための講座を中国語で実施するなど、新たな視点で講座を開設した。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。  2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。  1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2] (b)サービス水準 [2] (c)職員配置 [2] (d)職員研修 [2] (e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2] (g)自主事業の成果 [2] (h)個人情報保護 [2] (i)緊急時対応 [2] (j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2] (b)備品の管理 [2] (c)清掃・衛生管理 [2] (d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2] (f)管理記録の作成・保存 [2] (g)業務委託の事前承認 [2] (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2] (b)苦情・要望への対応と報告 [2] (c)利用者数等の目標達成 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2] (e)関係団体・地域との関わり [2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2] (b)管理経費の効率化 [2]	(c)収支計画の達成 [2] (d)利用料等の徴収・管理 [2]		
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  D (水準未達) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	参加者の裾野を広げるために、ニーズが高いと思われる講座の定員設定を増加して充実を図っている。展示ケースをロビーに設置しサークル作品を展示して意欲の向上に努めるなど、事業運営に工夫している。		
(2)施設の維持管理	A	年度計画・月次工程を立て、点検等を実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽箇所を洗い出しし、速やかなる是正処理を実施している。		
(3)利用者の満足度	A	受付窓口に蛍光灯スタンドを設置し、利用者が申請書等を記載し易いようにしているなど、利用者目線に立ったサービスを提供するよう努めている。		
(4)収入支出	A	利用収入は前年度と比較して、横ばいである。また、照明の部分消灯や裏紙印刷の励行をして節約に努める等、適切な予算執行に努めている。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p>				
	妥当	参加者の裾野を広げるために、ニーズが高いと思われる講座の定員設定を工夫。また、サークル参加者の志気がある展示ケースの設置など事業運営を工夫している。		
<p>11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応</p>				
<p>今年度実施した館独自のサークルフェスタを展開させ、各サークルの連携を広げるとともに、ものづくりの講座や託児付の講座を充実していく。また、引き続き、2020年東京大会に向け、多様な言語や文化、オリンピック・パラリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。</p>				

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔47〕 東京都台東区立根岸社会教育館				
指定管理者の名称	アズビル株式会社		指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	

1. 指定管理者の概要

(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等				
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティーセンター等（計29件46施設）				
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	（単位：百万円）	
	25年 61,887	49,624	12,263		
	26年 65,096	51,076	14,020		

2. 施設の概要

(1)所在地	台東区根岸5-18-13（根岸図書館1階）				
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。				
(3)利用者	主に社会教育関係団体。				
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日				
(5)規模	ホール：100名（129㎡）和室：40名（51㎡） 第一会議室：40名（51㎡）第二会議室：30名（42㎡）				
(6)人員体制	週40時間勤務 5名				

3. 事業（サービス提供）の概要

(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施				
(2)自主事業	4講座実施 延9回 延参加人員 190人				

4. 予算決算の推移

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	14,471,000	13,862,000	17,561,000	17,387,000	18,406,000
	利用料金収入	2,130,000	2,250,000	1,800,000	1,880,000	1,675,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,601,000	16,112,000	19,361,000	19,267,000	20,081,000
決算	委託料	14,471,000	13,862,000	17,561,000	17,387,000	18,406,000
	利用料金収入	2,085,275	1,852,120	2,044,450	1,941,680	2,091,310
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,556,275	15,714,120	19,605,450	19,328,680	20,497,310
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
年間開館日数	日	343	339	340	342
自主事業等講座数	講座	18	17	14	14

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値 （28年度）	24年度	25年度	26年度
利用率	%	42.5	43.9	41.8	41.4
利用人数	人	26,700	26,641	25,706	26,148

7 . 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み				
子供の伝統工芸体験『銀の指輪をつくろう』では、多数の応募があり、ニーズの高さをうかがわせた。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、はじめて『国際交流パーティー』を開催し、外国籍の方の滞在や在住が多い台東区において、国際理解や文化習慣の違いへの理解を得るなど、ユニークな講座を開設した。				
8 . 評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。		0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。
評価の観点	評 価 項 目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]
9 . 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未満) : 協定等の水準を満たしていない。		
評価の観点	評 価	説 明		
(1)事業の運営	A	自主事業講座においては、講座の定員設定を考慮したり、短期や単発の講座を実施するなど、より多くの方に生涯学習のきっかけを作れるよう努力している。		
(2)施設の維持管理	A	年次計画・月次工程を立て、点検等を実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽箇所を洗い出しし、速やかなる是正処理を実施している。		
(3)利用者の満足度	A	利用者の意見を取り上げ、利用サークルの活動備品の保管場所を設置し、活動備品重量物等を保管できるようにした。また、利用団体に対し、可能な限り準備の手伝いをし、好評を得るなど、利用者の満足度向上に努めている。		
(4)収入支出	A	利用収入は、若干増加している。利用件数の増加によるものである。なお、節電の励行に努める等、適切な予算執行に努力している。		
10 . 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
	<b>妥当</b>	利用者の要望に速やかに対応している。また、省エネ・節電に努めるとともに、利用者の安全に配慮した環境整備など、適切な施設運営を行っている。		
11 . 平成27年度評価結果に対する今後の対応				
今後、館独自のサークルフェスタを実施し、サークル同士の連携を深めるとともに、多様なニーズに応える事業を展開するなど、利用者の満足度アップを図っていく。また、引き続き、2020年東京大会に向け、多様な言語や文化、オリンピック・パラリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実に努める。				



平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称 [48] 東京都台東区立今戸社会教育館

指定管理者の名称 アズビル株式会社 指定期間 H24.4.1 ~ H29.3.31

1. 指定管理者の概要

(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等		
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティーセンター等（計29件46施設）		
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益（単位：百万円）
	25年 61,887	49,624	12,263
	26年 65,096	51,076	14,020

2. 施設の概要

(1)所在地	台東区今戸2-26-12（今戸住宅2F）
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。
(3)利用者	主に社会教育関係団体。
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日
(5)規模	ホール：50名（107㎡）和室：30名（66㎡） 第一会議室：30名（55㎡）第二会議室：40名（57㎡）
(6)人員体制	週40時間勤務 5名

3. 事業（サービス提供）の概要

(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施
(2)自主事業	4講座実施 延6回 参加人数 107人

4. 予算決算の推移

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	15,595,000	15,888,000	19,230,000	19,100,000	19,769,000
	利用料金収入	1,160,000	1,300,000	1,000,000	1,040,000	1,090,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,755,000	17,188,000	20,230,000	20,140,000	20,859,000
決算	委託料	15,595,000	15,888,000	19,230,000	19,100,000	19,769,000
	利用料金収入	1,058,746	1,098,430	1,279,175	1,222,800	1,408,125
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,653,746	16,986,430	20,509,175	20,322,800	21,177,125
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
年間開館日数	日	343	339	340	342
自主事業等講座数	講座	19	17	14	14

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値（28年度）	24年度	25年度	26年度
利用率	%	33.0	32.0	30.5	32.0
利用人数	人	18,300	19,463	17,624	17,831

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>子育て中の方が参加しやすいよう託児付き講座『親子でエクササイズ～マット遊び・なわとび・ボール遊び～』を実施。若年世代向け講座『陶器のマグカップづくり』を実施。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の理解を深めるため、「オリンピック・パラリンピックから学ぶ人権」の講座を実施した。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。  2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。  1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2] (b)サービス水準 [2] (c)職員配置 [2] (d)職員研修 [2] (e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2] (g)自主事業の成果 [2] (h)個人情報保護 [2] (i)緊急時対応 [2] (j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2] (b)備品の管理 [2] (c)清掃・衛生管理 [2] (d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2] (f)管理記録の作成・保存 [2] (g)業務委託の事前承認 [2] (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2] (b)苦情・要望への対応と報告 [2] (c)利用者数等の目標達成 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2] (e)関係団体・地域との関わり [2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2] (b)管理経費の効率化 [2]	(c)収支計画の達成 [2] (d)利用料等の徴収・管理 [2]		
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  D (水準未達) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	生涯学習のきっかけ作りであるラーニングスクエアの受講後の継続活動として、有志の方々によるサークルの発足の相談に応じ、サークル発足が3団体あった。また、館独自のサークルフェスタを開催し、地域への認知度向上を図った。		
(2)施設の維持管理	A	点検等については、年度計画・月次工程に基づいて適切に実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽箇所を洗い出し、速やかに防護策を講じるなど、利用者の安全に努めている。		
(3)利用者の満足度	A	講座によっては定員に満たない講座もあったが、出席者からは分かりやすかった、楽しく過ごせたなど、肯定的な意見が多かった。また、講座からサークルになった団体もあり、満足度は高かった。		
(4)収入支出	A	利用収入は前年度と比較して、増加した。また、照明の部分消灯及び裏紙印刷を励行し、節約に努めるなど、適切な予算執行に努めている。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p> <p><b>妥当</b></p> <p>有志の方々によるサークルの発足の相談に細やかに応じた結果、サークルが3団体発足した。また、2020年東京大会を踏まえた講座の実施などを行い、適切な施設運営を行っている。</p>				
<p>11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>今後も若年世代の方や子育て中の方が参加したくなるようなテーマの講座を実施するとともに、館独自のサークルフェスタを地域に根付かせて、新しいサークルの発足を促し、利用率の向上に繋げていく。また、引き続き、2020年東京大会に向け、多様な言語や文化、オリンピック・パラリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。</p>				